

# みなかみ町と さいたま市との連携 報告

---

プレミアムフライデーを活用した東日本連携の推進

# みなかみ町とさいたま市の関係



☆面積 781.08 km<sup>2</sup>  
☆総人口 19,523人  
(平成29年9月末現在)

☆面積 217.43 km<sup>2</sup>  
☆総人口 1,290,505人  
(平成29年10月1日現在)

- ・ 上越新幹線で40分（大宮～上毛高原）
- ・ 旧大宮市の市民保養施設を、平成9年に旧新治村内に設置
- ・ 国内友好都市として、みなかみ町・さいたま市相互に交流

# 連携の方向性

## みなかみ町のニーズ

平成29年6月に指定された「ユネスコエコパーク」の活用

→ エコパークは、「自然と人間の共生」が目的。幅広い概念のため、どのようにPRしていくかが課題

人・自然等の地域資源を生かして「みなかみファン」を増やしたい

→ 単なる観光客ではなく、みなかみ町の魅力を知り、リピーター（みなかみファン）を増やしたい

## さいたま市のニーズ

近隣の連携都市と具体的連携を目指す

→ 新幹線で1時間弱の近さを生かし、1泊2日の小旅行で「まず行ってみる」ステップを作る

顔の見える関係づくりによる都市としての魅力増加

→ 様々な連携都市と顔の見える関係ができることにより、「遊びに行ける」という魅力をアップ

プレミアムフライデーを活用した  
ちょっとプレミアムなみなかみ体験

# 『ちょっとプレミアムなみななかみ体験』 交流体験ツアー 概要

みななかみ町

連携

さいたま市 全体調整

都市戦略本部（地方創生・CS）  
経済局（経済）

ツアー内容協議

後援

後援

一般社団法人 現地受入  
みななかみ町体験旅行

東日本連携推進協議会

- ◆実施日 平成29年9月29日(金)・30日(土)
- ◆参加者数 16人（日帰り3人含む）
- ◆旅程

大宮駅

上毛高原駅

プレミアムフライデー(PF)  
を活用して  
金曜PMに出発



上越新幹線  
40分

9/29金

交流

温泉

9/30土

見学

散策

- ◆費用 1人2万円(1泊・3食付)+交通費

- ◆ねらい
  - ・ 1泊2日の小旅行の実例づくり
  - ・ PF活用による民間団体等の参加
  - ・ モニターアンケート意見による今後の改善

モニター参加  
(任意)

参加いただいた団体等

さいたま商工会議所

さいたま観光国際協会

関東経産局

# ①エコパークウォーク

赤谷湖・猿ヶ京温泉一帯を、自然・環境・歴史などを紐解きながら、散策＝街歩き。観光より深くみなかみ町を知る機会に。



③猿ヶ京温泉街

④赤谷水管橋

②まんてん  
星の湯

⑤足健康村

スタート

ゴール

①猿ヶ京関所  
資料館

⑥さる小

赤谷湖



## ②カスタネット工房・廃校等活用施設の見学



### カスタネット工房

日本のカスタネット製造の大半を製造してきた「カスタネット工房」を見学

数年前に木材が不足したが、間伐材を使用することで、製造を継続



### 足健康村

(旧猿ヶ京幼稚園を活用)

世界中のアスリートからインソールを受注製造



### さる小プロジェクト

(旧猿ヶ京小学校を活用)

1日1団体・150名までが宿泊できる宿泊施設として整備



### テレワークセンター MINAKAMI

(旧月夜野幼稚園を活用)

遠隔会議システム等の設備を備えたテレワーカーの拠点

人口減少に伴い統廃合した施設を活用した様々な先進的取組を見学

# ③人の交流

→ みなかみ町に移住・定住した若い方を中心に、みなかみの魅力や活動内容などをツアー参加者に伝え、みなかみを知る機会に。

テレワークセンター  
MINAKAMI



テレワークセンター

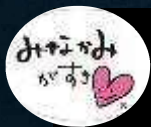
MINAKAMI

(一社) コトハバ  
都丸さん



民泊

(一社) みなかみ町  
体験旅行  
北山さん



みなかみ版DMO

みなかみ町観光協会  
林さん、鈴木さん



エコツーリズム

(一社) みなかみ町  
体験旅行  
福田さん



みなかみの水と自然

川古温泉 浜屋旅館  
林さん



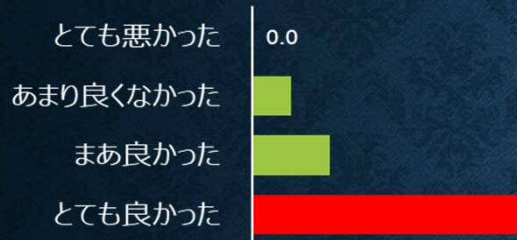
ユネスコエコパーク

みなかみ町役場  
小池さん

# モニターアンケート結果

## 【主な意見】

### プレミアムフライデーの活用



### 体験してよかったもの



### 価格設定



## Q 9月末という実施時期は？

- 気候など旅行の時期として非常に良かった
- 業務的には忙しい時期で難しかった

## Q プレミアムフライデーを活用した点は？

- 特別感を味わえた、便利なさいたま市ならではの楽しみが増えた
- 出発が早く、時間を作るのが大変だった

## Q ツアーで体験したものの中で、良かったものは？

**温泉** 景観の良さ、ご飯の美味しさ、おもてなしの安心感

**人** 歴史や文化を知れる、気持ちが伝わった、まちを好きになった

**かたねつ** こだわりと熱意を感じた、技術の高さ、職人技に感激

## Q 価格設定は？

- ・ 交通費込みの小旅行で3万円はやや高い（1～2万円程度）
- ・ 客層の訪問理由にあったコンテンツに集約すれば価格を下げられる

## Q 今後どのような企画・内容としていくべきか？

- ・ テーマを決めて、コンテンツを集約した企業向けのツアーとする
- ・ 職場旅行の選択肢として取り入れる
- ・ 親子向けの「水と水源涵養地ツアー」
- ・ サテライトのシェアハウス



# まとめ

## ➤ みなかみの「普通」は、都市部住民にとっては「上質な魅力」

→→ 高地の冷涼な気候、山間部の景観、温泉街の街並み、清涼な水による食べ物の美味しさなど、都市部住民にとって上質な魅力であることを確認

## ➤ 単なる観光ではない「人の交流」の重要性

→→ 「人の魅力」「町の魅力」を伝える「人の交流」は、単なる観光では味わえない体験を生み、みなかみのファン、リピーターを生むために有用と確認



## ➤ ターゲットを絞ったテーマ設定、より良い実施時期による民間企業等への拡大の必要性

→→ 9月末は上半期期末であったため、民間の参加を見込める時期に実施するとともに、職場旅行・サテライトやテレワーク検討などテーマの設定により、企業等への参加拡大を検討すること必要